

No	15	分類	3-(1)-ア	資料名	おい、わたしの口	学年	4年	領域	道徳	1-(4)
----	----	----	---------	-----	----------	----	----	----	----	-------

### 1 ねらい

- 自分の欠点や過ちを素直に認め、意欲的に自分から変わろうとする。

### 2 趣旨

- よりよい人間関係を築いていくために、他者に対する自分の言動を振り返り、改めようとすることは大切である。また、同時に相手に自分の思いや気持ちを伝えるための表現方法を身につけることも必要である。
- 学校で友だちと言い合いになってしまったことを後悔している「わたし」が、ゆうちゃんと仲直りできたことをきっかけに、みっちゃんとも仲直りしようとする姿を描いている。友だちとの関係を修復していく過程での「わたし」の心の変化は、共感的に理解しやすいものである。

### 3 配慮事項

- 自分の欠点ばかりに目が向き、自尊感情を損なうことがないように配慮したい。

### 4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 「わたし」の気持ちについて考える。</p> <p>「ごめんね」が言えなかった時、「わたし」はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余計なことを言ってしまった。</li> <li>・なぜすぐに謝らなかったんだろう。</li> </ul> <p>ゆうちゃんから「ごめんね」と言われた時、「わたし」はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲直りできてよかった。</li> <li>・わたしから、謝るべきなのに。</li> <li>・みっちゃんに謝りに行こう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あやまろうと思ったけれど」の言葉から、わたしの悪いと思う気持ちや素直に謝れない気持ちに気づかせる。</li> <li>・「ごめんね」と言い合う二人が喜びあっている様子から、自分の過ちを素直に認めた「ごめんね」の一言の大切さに共感させる。</li> </ul>
<p>2 みっちゃんと仲直りができた時の「わたし」の気持ちを考える。</p> <p>みっちゃんに「ごめんね」が言えた時、「わたし」はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・許してもらえるかすごく心配だった。</li> <li>・勇気を出して、自分から言ってよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胸の中でもち続けている「謝りたい」という思いから、勇気を出して自分から謝った心情に迫らせるとともに、仲直りできた安堵感にも共感させる。</li> </ul>
<p>3 友だちと話をする時、大切にしたいことを考える。</p> <p>友だちと話をする時、どんなことを大切にしたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言い方をよく考えて話をしたい。</li> <li>・悪いと思ったら、素直に謝りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素直に過ちを認め、謝ることが大切であることから、コミュニケーションを通して、よりよい人間関係を築こうとする意欲をもたせる。</li> </ul>